



2017年2月期 決算説明資料

2017年4月26日

株式会社スーパーバリュー
(JASDAQ:3094)



1. 当社の概要



- 1) スーパーバリューとは・・・
- 2) 売上・店舗数推移
- 3) 当社の特長
- 4) 基本戦略

① スーパーバリューとは・・・

都市型スーパーセンター

SM

食品スーパー

×

(複合)

HC

ホームセンター

&

=



SM

食品スーパー

1 スーパーバリューとは・・・

【埼玉】
16店舗



【東京】
11店舗



【神奈川】

⑥

【千葉】
1店舗

形態別店舗数

	SM+HC 複合	SM+ 一部HC	SM
埼玉	4店	2店	10店
東京	5店	－	6店
千葉	－	－	1店
合計	9店	2店	17店

【埼玉】

- 1 草加店
- 2 越谷店
- 3 戸田店
- 5 春日部武里店
- 8 上尾愛宕店
- 9 川口前川店
- 10 入間春日町店
- 11 東所沢店
- 13 大宮天沼店
- 14 見沼南中野店
- 17 中浦和店
- 21 朝霞泉水店
- 22 飯能店
- 25 春日部大場店
- 26 上尾小泉店
- 28 川口伊刈店

(2016年10月21日開店)

【東京】

- 4 練馬大泉店
- 7 杉並高井戸店
- 12 荒川一丁目店
- 15 志茂店
- 16 等々力店
- 18 府中新町店
- 19 国立店
- 20 西尾久店
- 23 品川八潮店
- 24 福生店
- 27 八王子高尾店

【千葉】

- 6 南船橋店

注)番号は出店順
店舗数は2017年4月26日現在

② 売上・店舗数推移

売上高の推移（億円）

【1996年3月】
「機大川ホームセンター」
設立（同年7月営業開始）

【2006年1月～12月】
経営の効率化と管理の
簡素化を目的として
子会社を吸収合併

【2013年9月】
「Value Plaza 上尾愛宕店」
の土地・建物を売却し、
新たに賃貸借契約を締結

新規出店 1店舗

川口伊刈店
2016年10月21日

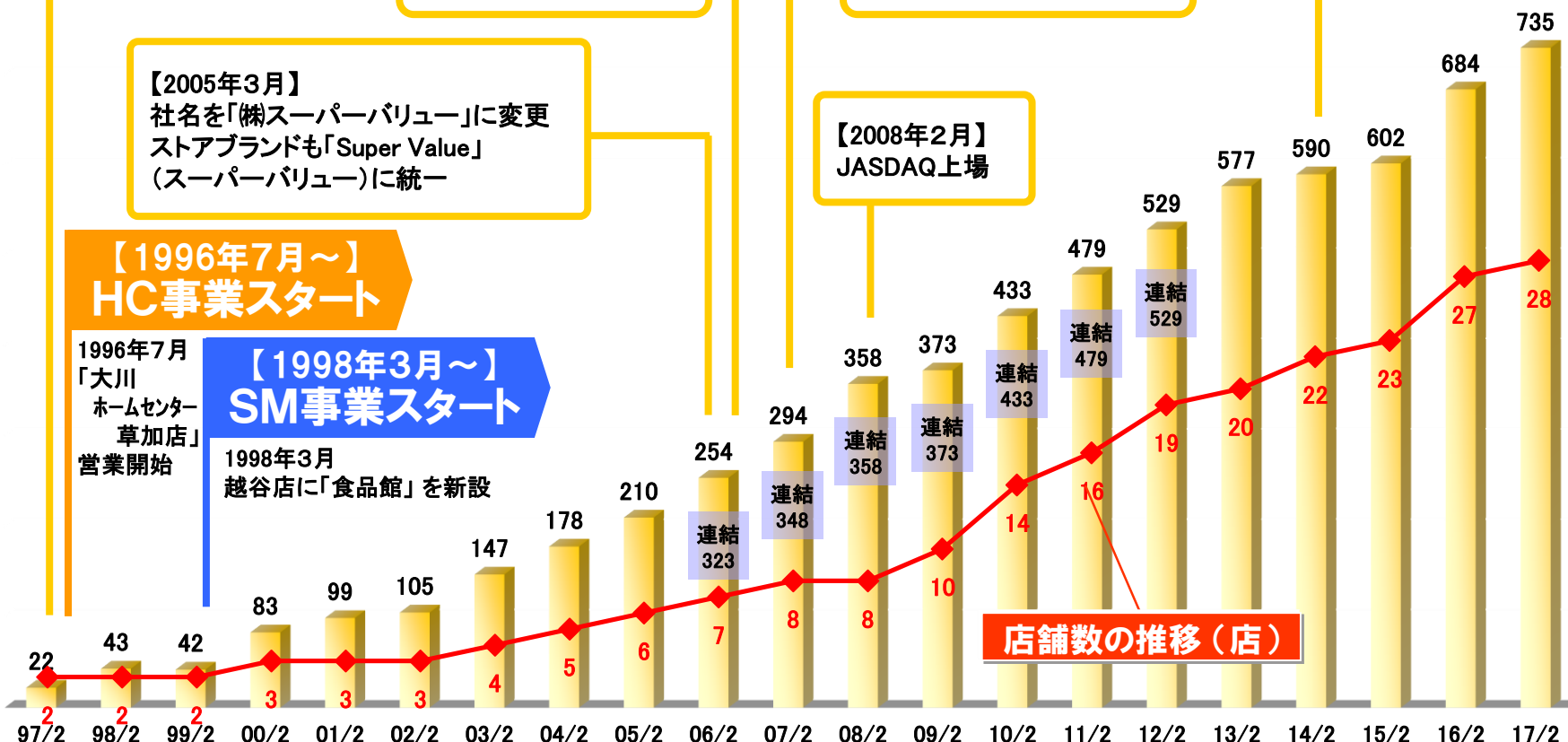
【2005年3月】
社名を「機スーパーバリュー」に変更
ストアブランドも「Super Value」
（スーパーバリュー）に統一

【1996年7月～】
HC事業スタート

1996年7月
「大川
ホームセンター
草加店」
営業開始

【1998年3月～】
SM事業スタート

1998年3月
越谷店に「食品館」を新設



店舗数の推移（店）

③ 当社の特長

店舗への
大幅な権限委譲

+

よい商品をより安く

+

幅広い品揃え

強い
集客力

高い客単価

⇒2,420円(2017年2月期)

高い商品回転率

⇒SM 64.1回/年
HC 6.4回/年
(2017年2月期)

高い生産性

⇒1人当たり売上高
29,790千円(2017年2月期)

④ 基本戦略 ローコスト経営

常に競合店を上回る価格競争力

これを実現している
基本戦略

- 売上総利益率を下げて集客と売上を拡大する路線
- これを可能とする「ローコスト経営体質」の追求

【売上総利益率の競合比較】

当社（2017年2月期）		業界平均（競合上場会社）	
SM事業	21.3%	26.1%	SM業界
HC事業	22.7%	30.2%	HC業界

【売上高販管費率の競合比較】

当社（2017年2月期）	業界平均（競合上場会社）
20.9%	26.6% SM業界
	28.4% HC業界

注) 業界平均の数値は、(株)日本経済新聞社「日本の小売業調査」及び「日本の専門店調査」より、当社基準で選定した上位会社及び当社競合会社の有価証券報告書等より集計



2. 決算概況



- 1) 決算ハイライト
- 2) 既存店の状況
- 3) 売上の状況
- 4) コストの状況
- 5) 設備の状況／従業員の状況
- 6) 要約貸借対照表
- 7) 要約キャッシュ・フロー計算書
- 8) 株式分割について

1 決算ハイライト

単位: 百万円、%

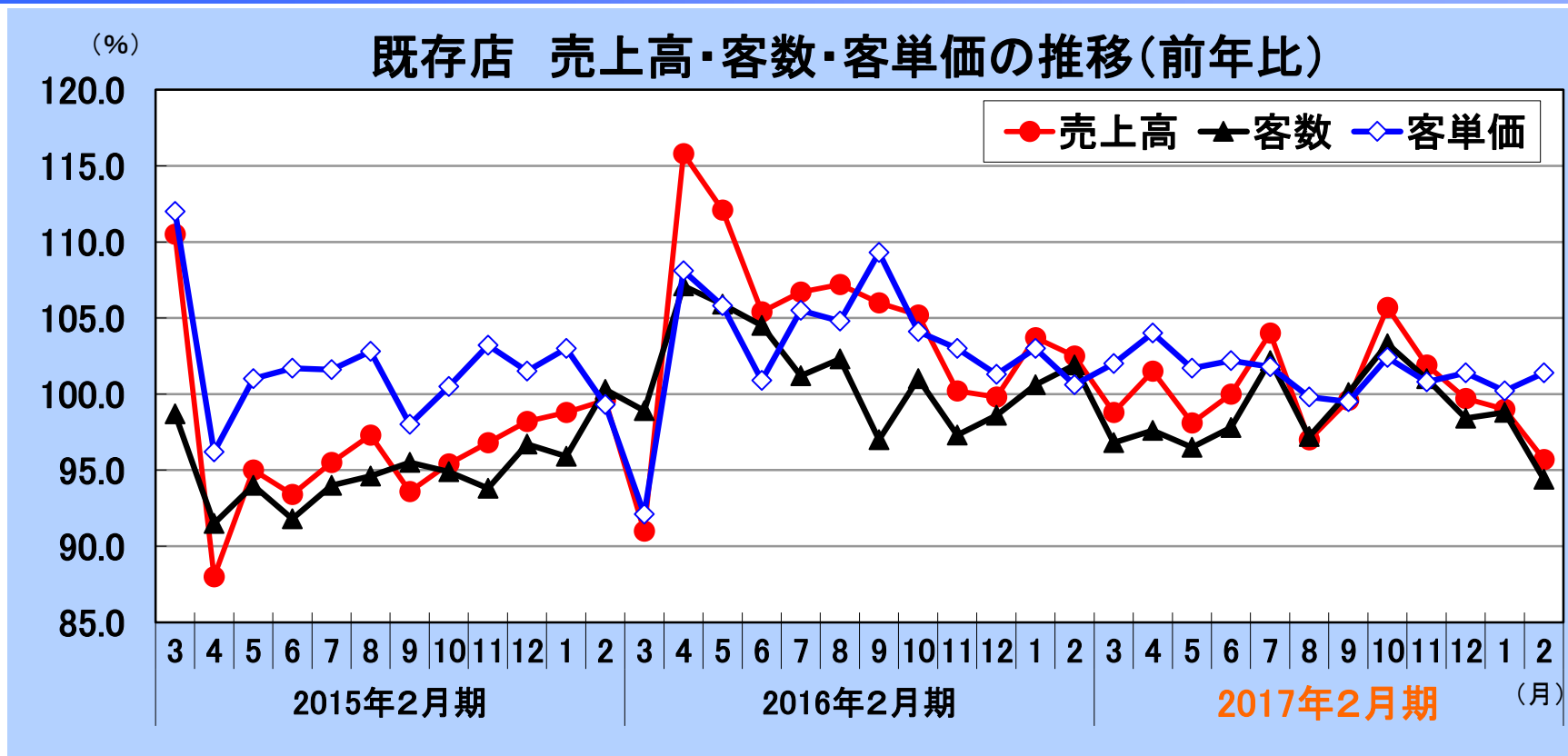
<単体>	2015年2月期		2016年2月期		2017年2月期		
		売上比		売上比		売上比	前期比
売上高	60,274	100.0	68,400	100.0	73,523	100.0	+ 7.5
売上総利益	12,773	21.2	14,406	21.1	15,874	21.6	+ 10.2
営業収入	293	0.5	304	0.4	343	0.5	+ 12.7
営業総利益	13,066	21.7	14,711	21.5	16,218	22.1	+ 10.2
営業利益	413	0.7	566	0.8	888	1.2	+ 56.8
経常利益	520	0.9	652	1.0	977	1.3	+ 49.8
当期純利益	269	0.4	367	0.5	627	0.9	+ 71.0
総資産	22,534	—	23,151	—	22,918	—	△ 1.0
純資産	5,125	—	5,542	—	6,096	—	+ 10.0
1株当たり 当期純利益	42.62円	—	57.97円	—	99.09円	—	+ 41.12円
1株当たり純資産	808.24円	—	873.90円	—	961.32円	—	+ 87.42円
1株当たり配当金	33.0円	—	35.0円	—	55.0円	—	+ 20.0円

注) 1. 当社は、2017年3月1日付けで株式分割(1株→3株)を行っております。

2. 上表の「1株当たり当期純利益」及び「1株当たり純資産」については、2015年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し算出しております(斜体で記載)。

3. 上表の「1株当たり配当金」は、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。

② 既存店の状況



出退店の状況

- 出店 川口伊刈店(10月)
- 改装 草加店(4月)

既存店売上高の状況

2017/2期		前期比
既存店売上高		100.1 %
客	数	98.7 %
客	単 価	101.4 %
買	上 点 数	98.7 %

③ 売上の状況 事業部門別売上高・売上総利益率

単位:百万円、%

<単体>	2015年2月期			2016年2月期			2017年2月期			
	売上高	売上比	売上総利益率	売上高	売上比	売上総利益率	売上高	売上比	前期比	売上総利益率
合 計	60,274	100.0	21.2	68,400	100.0	21.1	73,523	100.0	+ 7.5	21.6
SM事業	47,368	78.6	20.9	54,488	79.7	20.7	58,555	79.6	+ 7.5	21.3
生鮮食品	24,153	40.1	24.3	28,127	41.1	23.8	30,346	41.3	+ 7.9	24.0
グロッサリ	23,215	38.5	17.3	26,361	38.6	17.4	28,208	38.3	+ 7.0	18.4
HC事業	12,906	21.4	22.3	13,911	20.3	22.4	14,968	20.4	+ 7.6	22.7
第1グループ※	2,694	4.5	25.3	2,804	4.1	26.2	3,189	4.3	+ 13.8	25.9
第2グループ※	2,930	4.9	22.8	3,190	4.7	22.6	3,410	4.7	+ 6.9	22.8
第3グループ※	2,663	4.4	23.1	2,872	4.2	22.6	3,011	4.1	+ 4.8	22.9
第4グループ※	4,604	7.6	19.9	5,028	7.3	20.1	5,339	7.3	+ 6.2	20.6
その他	13	0.0	19.4	15	0.0	18.9	17	0.0	+ 8.3	19.0

※「第1グループ」：日曜大工用品、園芸用品、エクステリア用品、リフォーム
「第3グループ」：家電製品、対面（時計・カメラ等）、インテリア用品

「第2グループ」：カー用品、レジャー用品、ペット用品
「第4グループ」：家庭・日用雑貨、文具・玩具、ドラッグ

4 コストの状況

単位: 百万円、%

<単体>	2015年2月期		2016年2月期		2017年2月期		
		売上比		売上比		売上比	前期比
売上高	60,274	100.0	68,400	100.0	73,523	100.0	+ 7.5
売上総利益	12,773	21.2	14,406	21.1	15,874	21.6	+ 10.2
営業総利益	13,066	21.7	14,711	21.5	16,218	22.1	+ 10.2
販管費 (主なもの)	12,653	21.0	14,144	20.7	15,329	20.9	+ 8.4
広告宣伝費	410	0.68	474	0.69	500	0.68	+ 5.3
人件費	6,272	10.41	6,954	10.17	7,632	10.38	+ 9.8
地代家賃	2,280	3.78	2,462	3.60	2,659	3.62	+ 8.0
リース料	186	0.31	190	0.28	184	0.25	△ 3.2
水道光熱費	813	1.35	874	1.28	845	1.15	△ 3.3
開店一時経費	33	0.06	100	0.15	57	0.08	△ 43.1

売上総利益率: +0.5pt

・利益改善に向けた取り組み
⇒仕入面の見直し
⇒値下げ・廃棄ロス対策

販管费率: +0.2pt

・人件費の増加
⇒新卒新入社員の入社
⇒前期新店(4店)の通年寄与
及び当期新店(1店)に伴う
パート、アルバイトの増加
⇒人材確保のため、全体的な
賃金の上昇

・広告宣伝費、地代家賃の増加
⇒前期新店(4店)の通年寄与
及び当期新店(1店)による
もの

5 設備の状況／従業員の状況

● 設備の状況

単位: 百万円、%

<単体>	2015年2月期	2016年2月期		2017年2月期		
			前期比 増減額		前期比 増減額	前期比
新店・先行投資	2,096	2,548	+ 452	702	△ 1,845	△ 72.4
既存店活性化他	124	46	△ 78	231	+ 185	+ 401.4
設備投資計	2,220	2,594	+ 373	934	△ 1,659	△ 64.0
減価償却費	575	734	+ 159	849	+ 114	+ 15.6

システム再構築に
向けた準備

新店出店に伴う増加
(前期4店、当期1店)

● 従業員の状況

単位: 人

<単体>	2015年2月期末	2016年2月期末		2017年2月期末	
			前期比 増減数		前期比 増減数
社員	528	553	+ 25	555	+ 2
契約・嘱託・臨時	1,491	1,795	+ 304	1,913	+ 118
合計	2,019	2,348	+ 329	2,468	+ 120

新店開店に伴う増加

注) 契約・嘱託・臨時の人員数は、期中平均雇用人数(8時間換算)。

⑥ 要約貸借対照表 ①資産の部

決算期末日が金融機関の休日

単位:百万円、%

<単体>	2015年2月期		2016年2月期		2017年2月期		
		構成比		構成比		構成比	増減額
流動資産	7,900	35.1	5,754	24.9	5,546	24.2	△ 208
現金及び預金	4,152	18.4	1,282	5.5	1,146	5.0	△ 135
商品	2,779	12.3	3,220	13.9	3,291	14.4	+ 71
固定資産	14,633	64.9	17,397	75.1	17,372	75.8	△ 25
有形固定資産	10,194	45.2	12,645	54.6	12,635	55.1	△ 10
建物	2,458	10.9	5,821	25.1	5,965	26.0	+ 144
土地	5,392	23.9	5,392	23.3	5,392	23.5	-
リース資産	668	3.0	872	3.8	690	3.0	△ 181
無形固定資産	54	0.2	47	0.2	209	0.9	+ 161
投資その他の資産	4,385	19.5	4,703	20.3	4,527	19.8	△ 176
差入保証金	3,713	16.5	3,789	16.4	3,704	16.2	△ 85
総資産	22,534	100.0	23,151	100.0	22,918	100.0	△ 233

⑥ 要約貸借対照表 ②負債・純資産の部

決算期末日が金融機関の休日

単位:百万円、%

<単体>	2015年2月期		2016年2月期		2017年2月期		
		構成比		構成比		構成比	増減額
流動負債	13,616	60.4	10,585	45.7	9,665	42.2	△ 919
仕入債務	7,215	32.0	5,286	22.8	5,113	22.3	△ 173
短期借入金	2,800	12.4	1,850	8.0	850	3.7	△ 1,000
1年内返済予定の長期借入金	1,468	6.5	1,439	6.2	1,189	5.2	△ 249
リース債務	285	1.3	340	1.5	287	1.3	△ 52
ポイント引当金	155	0.7	184	0.8	193	0.8	+ 9
固定負債	3,792	16.8	7,023	30.3	7,156	31.2	+ 133
長期借入金	2,569	11.4	5,441	23.5	5,674	24.8	+ 233
リース債務	556	2.5	718	3.1	562	2.5	△ 155
負債合計	17,409	77.3	17,608	76.1	16,822	73.4	△ 587
純資産合計	5,125	22.7	5,542	23.9	6,096	26.6	+ 553
負債・純資産合計	22,534	100.0	23,151	100.0	22,918	100.0	△ 233
有利子負債合計	6,838	30.3	8,730	37.7	7,714	33.7	△ 1,016

注) 有利子負債合計には、リース債務を含んでおりません。

7 要約キャッシュ・フロー計算書

単位: 百万円

<単体>	2015年2月期	2016年2月期	2017年2月期	
				増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,066	△ 1,746	2,231	+ 3,977
税引前当期純利益	468	611	970	+ 359
減価償却費	575	734	849	+ 114
減損損失	66	41	6	△ 34
たな卸資産の増(▲)減額	△ 126	△ 442	△ 72	+ 369
仕入債務の増減(▲)額	3,008	△ 1,928	△ 173	+ 1,754
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,223	△ 2,596	△ 921	+ 1,674
有形固定資産の取得による支出	△ 1,652	△ 2,368	△ 707	+ 1,661
差入保証金の差入による支出	△ 566	△ 217	△ 62	+ 155
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,264	1,472	△ 1,445	△ 2,917
短期借入金の純増減(▲)額	1,200	△ 950	△ 1,000	△ 50
長期借入金の純増減(▲)額	450	2,842	△ 16	△ 2,858
現金及び現金同等物の増減額	3,107	△ 2,870	△ 135	-
現金及び現金同等物の期末残高	4,152	1,282	1,146	△ 135

⑧ 株式分割について

● 2017年3月1日付で株式分割(1株→3株)を実施

<目的>

- ◆ 流動性の向上
- ◆ 投資家層の拡大

<株式数の増加>

	株式分割前 (2017年2月28日現在)	株式分割後 (2017年3月1日現在)
発行可能株式総数	7,200,000 株	21,600,000 株
発行済株式総数	2,111,100 株	6,333,300 株



▶▶▶ 3. 業績予想と取り組み ▶▶▶

- 1) 通期業績予想
- 2) 今後の取り組み
 - ① 出店戦略
 - ② 2018年2月期のテーマ
 - ③ 成長に向けた取り組み

1 通期業績予想

単位:百万円、%

<単体>	2016年2月期		2017年2月期		2018年2月期(予想)		
		売上比		売上比		売上比	前期比
売上高	68,400	100.0	73,523	100.0	77,800	100.0	+ 5.8
売上総利益	14,406	21.1	15,874	21.6	16,998	21.8	+ 0.2
営業利益	566	0.8	888	1.2	932	1.2	+ 4.9
経常利益	652	1.0	977	1.3	1,027	1.3	+ 5.0
特別損益	△ 41	-	△ 6	-	-	-	-
当期純利益	367	0.5	627	0.9	700	0.9	+ 11.6

● 新規出店：4店予定

春日部小湊店 SM店 埼玉県春日部市 2017年夏開店予定

※上記のほか、埼玉県さいたま市に3店予定 2017年秋～冬

● 店舗リニューアル：2店予定

練馬大泉店 2017年3月25日リニューアルオープン

上尾愛宕店HC部門 2017年4月～5月に大規模リニューアル

● 既存店売上高：+1.0%

② 今後の取り組み ①出店戦略

● 確実な需要が見込める市街地への出店

- ◆ 1都3県(埼玉県・東京都・千葉県・神奈川県)の市街地・人口密集地をターゲットに「ドミナント出店」

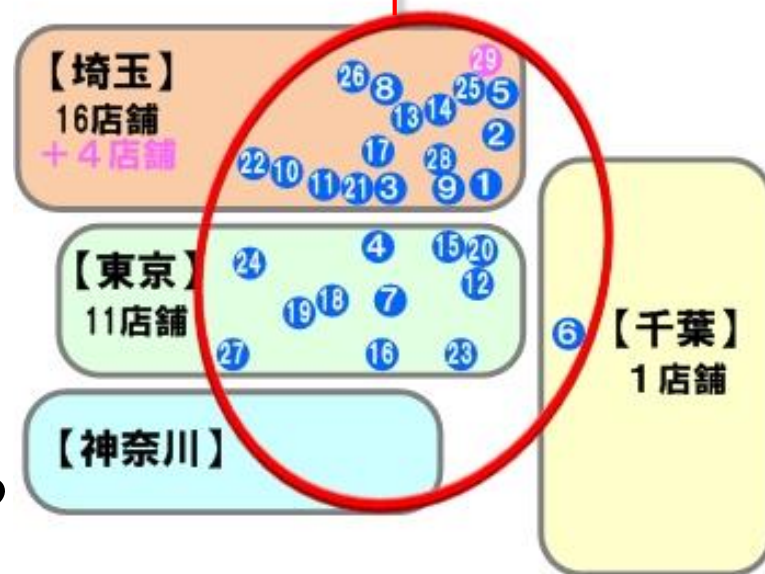
● 一店一店の収益性・効率性・地域性を重視し、独自の出店基準に基づいた無理のない出店

- ◆ 売場構成・品揃え・店舗サービスなど、出店地域にあわせた柔軟な店舗フォーマット

● 新規出店は年間2～3店舗を目標

- ◆ 2018年2月期は、4店舗を出店予定
- ◆ 居抜物件への出店も検討
- ◆ SM・HC複合店の出店も視野に入れる

ドミナントエリアの形成



② 今後の取り組み ②2018年2月期のテーマ

2018年2月期(22期)

『**改革**』をキーワードに、将来を見据えた取り組みを継続

- 「よい商品をより安く」の徹底

- ◆ 「できたて」・「作りたて」・「おいしい」にこだわった商品の提供
- ◆ 家具販売の開始

- 利益改善

- ◆ 売上高に占める生鮮食品の比重拡大
- ◆ 仕入面の見直し、廃棄ロス・値下げロスの改善

- 店舗力の強化

- ◆ 店舗主導主義に基づく迅速・柔軟・きめ細かい対応(変化に強い)

② 今後の取り組み ③ 成長に向けた取り組み

中期的な取り組み

“強い会社”を目指し、体制の整備を進めていく

- ボトムアップの推進
- 標準化領域の拡大
- システム面の再構築

⇒ 標準化された仕組みを土台に
各店舗の独自性が最大限発揮できるような
オペレーションの再構築を目指す



参考情報



- 1) 店舗の状況
- 2) 新店紹介

1 店舗の状況

売場面積 140坪（大宮天沼店）～ 3,650坪（上尾愛宕店）

駐車場 10台（等々力店）～ 1,330台（上尾愛宕店）

営業時間 10:00 ～ 21:00

<八王子高尾店(SM+HC複合店)>



外観

<上尾小泉店(SM店)>



鮮魚売場

2 新店紹介

川口伊刈店

SM店（2016年10月21日開店）



鮮魚売場



地場野菜コーナー



パン売場(SV Select)



この資料は投資家の参考に資するため、株式会社スーパーバリュー（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2017年4月26日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料に関するお問合せ先



株式会社スーパーバリュー 社長室

T E L : 048-778-3222

E-Mail : ir@supervalue.co.jp